

01 WED
02 THU
03 FRI
04 SAT
05 SUN
06 MON
07 TUE
08 WED
09 THU
10 FRI
11 SAT ■第3回キャンパス相談会
12 SUN ■AO前期エントリー受付開始(8月3日まで) ※実施学部/工学部・芸術学部・情報学部・生物生命学部
13 MON
14 TUE
15 WED
16 THU
17 FRI
18 SAT
19 SUN
20 MON 海の日
21 TUE
22 WED
23 THU ■前期定期試験開始(7月31日まで)
24 FRI
25 SAT
26 SUN
27 MON
28 TUE
29 WED
30 THU
31 FRI

8 AUGUST

01 SAT ■第2回オープンキャンパス
02 SUN
03 MON ■夏季休暇開始(9月20日まで)
04 TUE
05 WED
06 THU
07 FRI
08 SAT
09 SUN
10 MON
11 TUE
12 WED
13 THU
14 FRI
15 SAT
16 SUN
17 MON
18 TUE
19 WED
20 THU
21 FRI
22 SAT
23 SUN ■第3回オープンキャンパス
24 MON
25 TUE
26 WED
27 THU
28 FRI
29 SAT ■AO試験・前期 願書受付開始(9月9日まで)
30 SUN
31 MON

9 SEPTEMBER

01 TUE
02 WED
03 THU
04 FRI
05 SAT
06 SUN
07 MON ■指定校推薦(専門高校対象) 前期願書受付開始(10月2日まで) ※実施学部/工学部・情報学部・生物生命学部 ■特別選抜試験願書受付開始(10月2日まで) ※実施学部/芸術学部
08 TUE
09 WED
10 THU
11 FRI
12 SAT
13 SUN
14 MON
15 TUE
16 WED ■AO試験・前期 試験日
17 THU
18 FRI
19 SAT
20 SUN
21 MON 敬老の日
22 TUE 国民の休日
23 WED 秋分の日
24 THU ■オリエンテーション ■AO試験・前期 合格発表
25 FRI ■授業開始
26 SAT ■第4回キャンパス相談会
27 SUN
28 MON
29 TUE
30 WED

SOJO

VOL.52
Summer
2009

UNIVERSITY INFORMATION MAGAZINE

巻頭
特集

The attractiveness of SOJO University
崇城大の魅力～学生による徹底解析

2009 OPEN CAMPUS

オープンキャンパスに
見て 聞いて

体験する

崇城大学生という自分の未来!!

体験実験や研究室探訪、
教員や在学生への質問タイムなど、
崇城がどんな大学なのか、
しっかりわかるイベントがいっぱい。
入試攻略アドバイスもあるオープンキャンパスで、
自分の未来をイメージしよう!!

崇城大学 SOJO UNIVERSITY

- 工 学 部 機械工学科/ナノサイエンス学科/エコデザイン学科
建築学科/宇宙航空システム工学科<総合課程>
<専修課程航空整備士養成コース><専修課程パイロット養成コース>
- 芸 術 学 部 美術学科/デザイン学科
- 情 報 学 部 情報学科
- 生物生命学部 応用微生物工学科/応用生命科学科
- 薬 学 部 薬学科
- 大学院工学研究科
<博士後期課程>エネルギーエレクトロニクス専攻/機械システム工学専攻/
応用化学専攻/環境社会工学専攻/応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻/
<修士課程>電気・電子工学専攻/機械工学専攻/応用化学専攻/
建設システム開発工学専攻/宇宙航空システム工学専攻/
応用微生物工学専攻/応用生命科学専攻
- 大学院芸術研究科
<博士後期課程>芸術学専攻
<修士課程>美術専攻/デザイン専攻

SOJO

検 索

http://www.sojo-u.ac.jp/

〒860-0082 熊本市池田4-22-1
TEL.096-326-3111(代表)FAX.096-326-3000
広報誌「かくふう」第52号 発行/2009年6月
崇城大学広報誌編集委員会・広報課(koho@ofc.sojo-u.ac.jp)

<開催日時>

第2回●8月01日[土] 10:00～16:00

第3回●8月23日[日] 10:00～16:00

★キャンパス相談会開催中★詳細は本学ホームページへ

お問合せは入試課まで

TEL.096-326-6810

nyushi@ofc.sojo-u.ac.jp

2010年度 入学試験情報

※記載は2009年中に実施される試験（2010年1月以降実施の試験は次号より紹介）

A O 試験	前期	実 施 学 部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		エントリー受付期間	07月13日[月]～08月03日[月]
		願 書 受 付 期 間	08月28日[金]～09月09日[水]
		試 験 日	09月16日[水]
		合 格 発 表	09月24日[木]
後期		実 施 学 部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		エントリー受付期間	11月02日[月]～11月16日[月]
		願 書 受 付 期 間	11月27日[金]～12月11日[金]
		試 験 日	12月17日[木]
		合 格 発 表	12月24日[木]

特別選抜試験	実 施 学 部	■芸術学部
	願 書 受 付 期 間	09月07日[月]～10月02日[金]
	試 験 日	10月10日[土]
	合 格 発 表	10月15日[木]

指定校推薦試験	前期／専門高校	実 施 学 部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
		願 書 受 付 期 間	09月07日[月]～10月02日[金]
		試 験 日	10月10日[土]
		合 格 発 表	10月15日[木]
	後期／全指定校	実 施 学 部	■工学部 [*] ■芸術学部 ■情報学部 ■生物生命学部
		願 書 受 付 期 間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試 験 日	11月06日[金]
		合 格 発 表	11月14日[土]

推薦試験	普通高校 専門高校 （兼特待生選抜）	実施学部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月06日[金]・11月07日[土]
		合格発表	11月14日[土]
推薦試験	一般・専願	実施学部	一般 ■芸術学部 ■薬学部 専願 ■薬学部
		願書受付期間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試験日	11月06日[金] 薬学部（専願） 11月07日[土] 芸術学部・薬学部（一般）
		合格発表	11月14日[土] ※薬学部は11月17日[火]

自己推薦試験	前期	実 施 学 部	■工学部 [*] ■情報学部 ■生物生命学部
		願 書 受 付 期 間	11月24日[火]～12月11日[金]
		試 験 日	12月16日[水]
		合 格 発 表	12月24日[木]

※宇宙航空システム工学科は総合課程のみ

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 航空整備士養成コース>

推薦試験	専願	願 書 受 付 期 間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試 験 日	11月07日[土]
		合 格 発 表	11月14日[土]

<工学部 宇宙航空システム工学科 専修課程 パイロット養成コース>

A O 試験	前 期	エントリー受付期間	07月13日【月】～08月03日【月】
		願 書 受 付 期 間	08月28日【金】～09月09日【水】
		試 験 日	09月16日【水】
		合 格 発 表	09月24日【木】
	後 期	エントリー受付期間	11月02日【月】～11月16日【月】
		願 書 受 付 期 間	11月27日【金】～12月11日【金】
		試 験 日	12月17日【木】
		合 格 発 表	12月24日【木】

推薦試験	一般	願 書 受 付 期 間	10月19日[月]～10月30日[金]
		試 験 日	11月07日[土]
		合 格 発 表	11月14日[土]



■表紙アートは2009年3月、芸術学部美術学科・洋画コースを卒業した岩永初津美（いわなが はつみ）さん（長崎県・大村城南高校出身）の卒業制作「巡（めぐる）」。

シマウマをモチーフに視覚トリックを用いた表現方法は、「絵を見る人をアッと驚かせたい」といったファースト・インパクトを追求している過程から、エッシャーのだまし絵にヒントを得たもの。F150号という巨大なキャンバスから、外へも無限に広がるような錯覚の中には、なんと9頭のシマウマが描かれているとか。卒業後は子どもを撮影する写真スタジオに入社し、カメラマンとしての修行を積み毎日、「絵を描くと気持ちが落ち着くので、これからもずっと描いていくつもり。仕事に慣れたら大作に取り組み、個展やグループ展を開きたい」。岩永さんの創作意欲は卒業後も増すばかりです。



CONTENTS

02 SPECIAL ARTICLE

The attractiveness of SOJO University
崇城大の魅力～学生による徹底解析

07 新連載

九州・沖縄8県人の発見

09 A LABORATORY REVIEW

情報学部 情報学科 木村研究室
芸術学部 美術学科 日本画コース 中村研究室

11 NEWS

新任教員紹介
パイロットコースのフライト実習にセスナ172Sを導入
磯田准教授が熊本の明治期駅舎について国際会議で発表
藤井教授がベトナムの国立大学を歴訪
人吉市と友好協力協定調印

13 TOPICS

薬剤師国家試験で崇城大学薬学部が合格率全国2位に
第44回「日春展」で学生たちが受賞・入選
本学への留学生が博士号と修士号を取得
環境座談会に学生たちが参加
新入生「阿蘇研修」を開催

14 THE HISTORY OF A PROFESSOR

生物生命学部 応用微生物工学科 緒方靖哉 教授

15 ALUMNI

いすゞ自動車 迫口雄三さん
坂本達哉建築設計事務所 代表 坂本達哉さん

16 INTERNATIONAL EXCHANGES

国際交流だより

CLUBS' ACTIVITY

空手道部
軽音楽部

17 THIS IS MY FAVORITE BOOK

心響の一冊

18 LOCAL AREA COOPERATION

地域との連携

SOJO COLLEGE INFORMATION

崇城大学専門学校からのお知らせ

学生による徹底解析

崇城

SPECIAL ARTICLE

The attractiveness of SOJO University

大の

魅力



崇城大の魅力 ～学生による徹底解析

充実の図書館*が示す 学ぶ意欲のさらなる高まり

*正式名称は中山義崇記念図書館



Navigator①

蔵書数約11万冊を誇る図書館は知の宝庫
Hayato IIMORI

「約3,600名の学生が学ぶ崇城大の魅力はなにか」。教授陣の手厚い指導や進路への面倒見の良さなど数ある答えの中から、学生が入学早々に実感できる魅力を探りに、ナビゲーター第1班の飯盛勇人くん(情報学部3年次生/佐賀県・佐賀学園高校出身)と山本響美さん(工学部・エコデザイン学科1年次生/熊本県 第一高校出身)が訪ねたのは中山義崇記念図書館。「蔵書数約11万冊を誇る地下1階・地上6階建ての図書館はまさに知の宝庫。学生が日頃「図書館」として使うのは1階から3階。上層階にはパソコン教室やハイビジョンシアター、大ホールなどがある」とまずは飯盛くんがフロアを説明(写真_1)。全国紙から地方紙まで30紙をこえる新聞や80種類以上の雑誌、新書や文庫本などが揃う1階は大型書店の雰囲気(写真_2)。飯盛くんが勧める1階の活用法は「日常的な情報収集」。読みたい新刊本などがあれば取寄せてもらえると聞いて早速、リクエストの方法を教えてください山本さん(写真_3)も「図書館は入るだけで知的好奇心が刺激されますね」とにっこり。



Navigator①

ハリウッド映画で英語を勉強しようかな
Kyomi Yamamoto

広々とした階段(写真_4)をのぼった2階、二人が向かったのはベアシートのビデオ・DVD視聴ブース(写真_5)。ソフトは教育・研究用に限らず、古今東西の映画も多く「ハリウッドの名画を繰り返し観て英語の勉強をしようかな」と山本さん。飯盛くんは「各界の著名人が教壇に立たれる本学・教養講座を収録したDVDも揃っている。興味ある講師の講義を視聴するのもおすすめ」。次いで「僕が多く利用するのはここ」と飯盛くんが案内したのは3階の学習スペース(写真_6)。持参のパソコンからインターネットへアクセスできる一人用のデスクも多数あり「情報チェックから試験勉強、卒研の資料講読まで、とにかく集中できる」と全学生から好評。飯盛くんから「しっかり勉強できる環境は整えられている。あとは“その気”になるだけ」と激励された山本さん。希望に即した就職はもちろん、高校生の頃には“考えられなかった”ような国立大の大学院に進む学生も少なくない本学。そのベースとなる“学ぶ意欲のさらなる高まり”は、この図書館によるものとも思われます。



Navigator②

心身の鍛錬は大学生にとっても必至
Akira MIYAKI

第2班の宮木彬くん(写真_7前方/情報学部3年次生/福岡県・祐誠高校出身)は学友会・体育委員会の副委員長。彼が自慢のひとつとする400mトラックを「ついてこい!!」と疾走させられた後輩の本田雄大くん(写真_7後方/工学部・機械工学科1年次生/熊本県・熊本西高校出身)。
そんな二人が「心身の鍛錬は大学生にとっても必至」と意気込み訪ねたのが体育会館(写真_8)。エントランスには学生が自由に借りられる球技の道具が揃えられており(写真_9)、その横のトレーニング室では本田くんがマッコボポーズ(写真_10)。「1階には他にも剣道場(写真_11)、柔道場(写真_12)、卓球場(写真_13)がある。スゴイだろ」と宮木くん。2階では薬学科1年次生の体育の授業が始まり(写真_14)、二人そろって「ラッキー!!」とハイテンション(写真_15)。



Navigator②

弓道場では心が洗われます
Yudai HONDA

しかし崇城大が誇る2面のソフトボール球場(写真_16)、プロ野球の公式戦が行われる藤崎台熊本県営球場と同規模である両翼99m・センター122mの野球場(写真_17)、両写真のポーズが“同じ”なのはご愛嬌。
「心が洗われる感じがしますね」と本田くんが紹介してくれた弓道場(写真_18)の他、射撃場や空手道場、テニスコート6面や屋内野球練習場など、数々のスポーツ施設がある本学。これらの活用により、日々心身に汗する体育系31クラブの学生アスリートたち。学部や学科、学年をこえた切磋琢磨が彼等にもたらしているのは、“次代を担うための人間的成長”に他ないことでしょう。



充実のスポーツ施設が示す
次代を担うための人間的成長

崇城大の魅力 ～学生による徹底解析



18

先進の薬学部棟が示す プロフェッショナル養成の確かさ



19



21



20



22



23

Navigator③

本学の薬剤師国試合格率が全国2位に

Kohei SAKATA



「薬学部棟に入るのは今日が初めて。興奮します」と言う富田明彦くん(写真_18左／工学部・宇宙航空システム工学科専修課程パイロット養成コース1年次生／東京都・保谷高校出身)を案内したのは、同棟で学ぶ坂田光平くん(写真_18右／薬学部・薬学科4年次生／福岡県・三池高校出身)。
清潔感あふれる1階ロビーには、隣接する芸術学部棟に学ぶ学生の彫刻作品が展示され(写真_19・20)、国家試験合格にむけて励む薬学科生たちからも「癒されます」と人気。
「そのおかげもあって'08年度薬剤師国家試験の本学合格率94.96%は全国2位(全国平均74.40%)。快挙だろ!!」と先輩の奮闘を誇る坂田くんに、「すごいです。僕たちパイロット養成コース生にも励みになります」と同調する富田くん。

Navigator③

だから崇城大生は即戦力なんだ

Akihiko TOMITA



そんな二人が訪れたのは病院薬局実習室(写真_21)。地域基幹病院等の薬局を模してつくられており、坂田くんが「病院薬剤師の実務を想定した実習が行われる」と薬棚の薬剤を示しつつ解説。次に入室したのは、調剤薬局での実務を体験学修する保健薬局実習室(写真_22)。医師の処方せんにより複数の薬剤を混ぜ合わせるなど、患者個別の薬をつくる調剤業務は万一のミスも許されないもの。同室にはコンピュータ・オーダーリングシステムと連動する散薬分包機(写真_23)も5機あり、これを学内で実習しておく価値は大。
「パイロット養成コースにも最新型のセスナが実習用に2機導入されました。この薬学部棟をはじめ、他学部の設備も実践に則したもので、崇城大生が社会から即戦力として求められる理由がわかりました」と富田くん。本学の特色である“プロフェッショナル養成の確かさ”は、これらの実践的かつ先進の設備や施設が土台になっていると思えます。

Navigator Meeting 学生座談会

ナビした施設群の充実や先進さはもとより
教職員やスタッフの方々の“温かさ”こそ
学生満足度の高さの秘訣であり
崇城大の魅力なのでは

飯盛●本学の魅力を示す施設を3班にわかれてナビしてもらったけれど、各々なにを感じましたか。まずは僕と一緒に図書館へ行った山本さん。

山本●大きさと広さに驚きました。2階の視聴覚コーナーにDVDがずらり揃っていることもびっくり。飯盛先輩にも言われましたが、この環境を活かして今後しっかりと、勉強しようと思いました。

飯盛●環境の良さが学習意欲を高めるのは事実。図書館は本学の“魅力のシンボル”といえるだろうね。

本田●僕は宮木先輩に連れられ、数々のスポーツ施設を訪ねました。剣道、柔道、空手道それぞれに道場があること、野球場がプロ並みであること、僕も驚きの連続でした。弓道場の心洗われる雰囲気にも感動しました。なお僕は高校でハンドボールをしていましたが、大学で部活をするつもりはなかったんです。でも今日を機に部活はすべきと思うようになっていて、どの部にするか、しっかり考えます。

宮木●学部・学科・学年の垣根をこえて交流できるのが部活のメリット。それをふまえて、大学は数々のスポーツ施設を整備してきたんだと思う。また本学には“大学デビューOK”な競技も多数ある。本田くんはもちろん、より多くの学生が部活に励んでほしい。

富田●僕は部活ではないですが、放課後はA号館2階にある「英会話サロン」に行き、ネイティブスピーカーの先生や留学生たちと英語で話すことに努めています。

坂田●さすがパイロット養成コース生!! 英語は必至のスキルなものな。ところで僕が案内した薬学部棟はどうだった? 「薬剤師の国試合格率が全国2位になったのもよくわかる」と思わなかったかい?

宮木●えっ本学の薬学部が薬剤師の国試合格率で全国2位になったのですか、それって“快挙”じゃないですか!!

富田●案内してもらった実習室はとても実践的に整えられていて、快挙が“当然のこと”に思えるほどでした。僕にとっては「セスナ2機を擁する空港キャンパスがあること」が崇城大の魅力“No.1”でしたが、薬学部棟をはじめとするキャンパス全体の充実や雰囲気のよさを今日あらためて実感しました。

飯盛●図書館、スポーツ施設、薬学部棟。これらの充実は“わかりやすい魅力”であって、その活用を促す教授陣や職員の方々、学食や各種売店のスタッフの方々、そういう人たちの“温かさ”が励みになり、成長していけるからこそ、崇城大の真の魅力なんだと僕は思う。

坂田●実際「崇城大が第一志望ではなかった」という学生も少なくないはずだけど、皆の満足度が高いのも彼が言った方々による“手厚いサポート”にあると思う。次回はそのあたりをナビしたいね。

宮木●このメンバーで次回があるかどうかはさておき(笑) 僕も同感。ということで、6人を代表して山本さんに本日のテーマ「崇城大の魅力～学生による徹底解析」をまとめてもらいましょう。

山本●先輩方がしっかりとまとめられていて…これ以上、私が述べることはありません(笑)。今日はとても楽しかったです。ありがとうございました。



情報学部3年次生
飯盛 勇人くん
佐賀県 佐賀学園高校出身

第1班ナビゲーター

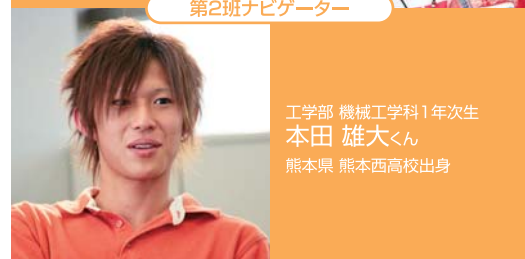


工学部 エコデザイン学科1年次生
山本 響美さん
熊本県 第一高校出身



情報学部3年次生
宮木 彬くん
福岡県 祐誠高校出身

第2班ナビゲーター



工学部 機械工学科1年次生
本田 雄大くん
熊本県 熊本西高校出身



薬学部 薬学科4年次生
坂田 光平くん
福岡県 三池高校出身

第3班ナビゲーター



工学部 宇宙航空システム工学科
専修課程
パイロット養成コース1年次生
富田 明彦くん
東京都 保谷高校出身

ナビゲートに協力してくれた
飯盛くんと宮木くんが活動する
学友会・体育委員会からのお知らせ
**学内アルティメット大会を
7月4日【土】に開催予定!!**

フライングディスクを用いてゴールを競う、バスケットボールとアメリカンフットボールをミックスした感覚のスポーツ「アルティメット」の学内大会を7月4日【土】体育会館にて開催します。これは今年、新たに企画した「球技大会」の第一戦で賞品も超豪華!! 奮って参戦&観戦ください!!
※詳しくは学内掲示等を参照ください。

県人の発見

崇城大学生の約90%を占める九州・沖縄8県出身者。
そんな彼女ら彼らがこのキャンパスでの出会いや学びから、
どんな夢や目標、新しい自分や故郷への想いを見つけたのか。
これから毎号、8県8名の発見を紹介しましょう。

series_01@01
熊本県人

情報学部2年次生
宮本 健世くん
熊本県 必由館高校出身

●住み慣れた感じがある熊本には築城400年を誇る熊本城をはじめ、世界最大級のカルデラをもつ阿蘇や秋の藤崎八幡宮秋季例大祭など、たくさんの魅力があります。僕は崇城大でアイスホッケーを始め、今は部活と将来のための勉強を両立して頑張っています。

大好きな熊本。
大学生活はとても
楽しいです。

series_01@02
福岡県人

薬学部 薬学科2年次生
青柳 裕美さん
福岡県 福岡西陵高校出身

●入学前は病院や薬局で調剤したり、患者さんに薬の説明をするだけが薬剤師の仕事だと思っていました。しかし入学後、研究所や保健所等の行政機関でも薬剤師が活躍していることを知り、より一層「なりたい!!!」という思いが強くなりました。人々が優しく温かい熊本で今後も頑張ります!!

薬剤師の仕事は、
とても幅広いと
知ったので。

series_01@05
宮崎県人

工学部 機械工学科2年次生
合志 尚記くん
宮崎県 延岡工業高校出身

●学科や部活に僕を支えてくれる仲間がいます。今後は僕が支えてあげられるよう、大きな人間になりたい。仲間って本当に最高!! みんなに感謝!! ちなみに、そんな仲間がいる学科は機械工学科で、部活はラグビー部。部員募集中ですのでヨロシク!!

でかい人間に
なりたい!!

series_01@06
大分県人

生物生命学部
応用生命科学科3年次生
吉川 舞さん
大分県 竹田高校出身

●私が学ぶ応用生命科学科の教授陣は最先端の研究をされており、どの研究室も興味深いものばかり。3年次生になった今は実験も多く、とても充実しています。時には失敗もありますが、そこから学ぶことも多いです。おかげで熊本のことも大好きになりました(夏の暑さには・・・ですが)。

好奇心を失わず、
研究に没頭する
ことができる。

series_01@04
長崎県人

芸術学部 デザイン学科3年次生
小田 紀世和くん
長崎県 長崎工業高校出身

●「技術ばかりのオペレーターになってはダメ。それで何を伝えたいのか、デザインの内側を考えることが大切なんだ」。これは某教授のログセですが、デザイン学科全体の考えでもあります。私は今年の熊日デザイン賞で3席を受賞、それを実感することができました。

大切なのは、
デザインの
内側。

series_01@08
沖縄県人

生物生命学部
応用生命科学科3年次生
比嘉 ひとみさん
沖縄県 浦添高校出身

●沖縄を離れて内地・熊本の大学に来て2年数カ月。沖縄の良さも悪さも、あらためて気づくことができました。そんな崇城大での日々と学びを活かすためにも、卒業後は故郷に帰り、沖縄の発展に貢献できる仕事に就きたいと思うようになりました。

沖縄の発展に
貢献できる仕事に
就きたい。

series_01@07
佐賀県人

工学部
宇宙航空システム工学科2年次生
川原 将之くん
佐賀県 武雄青陵高校出身

●あれは1年次後期のこと。講義を受講せず単位を落としてしまったら、同期生たちが「次年度から努力して一緒に卒業し、共に社会人として歩んでいこう!!」と励ましてくれた。その時、みんなと共に学生生活を過ごし、卒業したいと思った。頑張ります!!

僕を励ましてくれた
同期生たちと共に
卒業したい。

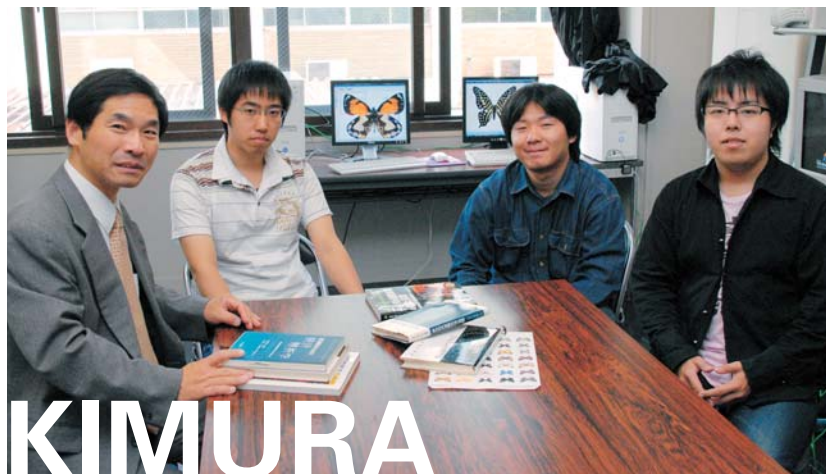
series_01@03
鹿児島県人

工学部 機械工学科2年次生
倉ヶ崎 歩さん
鹿児島県 鹿屋女子高校出身

●私は今、モノづくりにはまっています。モノづくりにはまった理由は、私が参加している「SOJO PROJECT-F(学生フォーミュラ)」で自分たちで設計し、フォーミュラカーを製作する過程を体験したから。この夏は休み返上になると思うけど、楽しいから「文句なし!!」です。

モノを一から
つくる楽しさを
知りました。

人間を知ること コンピュータを人間に近づける



KIMURA Laboratory

●人間を知り、コンピュータを人間に近づけるため、①人間の手書き過程の解明、②コンピュータが文字を読取る方法、③人間が提示した画像に似た画像をコンピュータが検索する方法の研究を行っています。

①人間の書き過程の解明では、ペンの速度、筆圧、角度等の間にどのような関係があるか、また個性がどこに現れるかを解明しています。これらが明らかになると、文字を読み取るコンピュータの性能向上や個人風の文字フォントの作成が可能になります。

②コンピュータが文字を読取る方法では、現在のコンピュータは「王、玉」といったような字形形状の似た類似文字や普段ノートに書くような自由な字体で書かれた文字は認識するのが困難であり、その方法を探究しています。これが可能になると、現用の文字認識装置の性能向上はもちろん、将来はロボットの眼として使うこともできます。

③人間が提示した画像に似た画像をコンピュータが検索する方法では、検索された画像は人間の感覚に合っていることが要求されます。そのためには、画像の持つ色や形と人間の感覚とがどのような関係にあるかを明らかにすることが必要であり、様々な仮説を立ててその検証を行っています。この検索法が完成すると、家庭用電子アルバムにおける画像検索や博物館、美術館等における所望の画像検索ができるようになります。



自身の研究テーマは？

●テーマは「手書き過程の解明」です。普段、何気なく書いている文字、一人ひとりちがう特徴をもつその中に関連性を見出すことに探究心をくすぐられ、このテーマを選びました。なお木村教授は認識と解析を中心とした、人間の感覚や感性といった部分に深くかわかるテーマを主に研究されています。人間の個を情報に結びつけて追求する、教授の斬新な研究に深い興味をもっています。

研究室の雰囲気は？

●学部生の就職活動に関する話題などで盛り上がっています。雰囲気は人数が少ないということもあり、落ち着いた感じ。研究に気持ちよく取り組める環境です。今後は、合宿やお酒の場などを設けたりしてさらにお互いの理解を深め、切磋琢磨していけたらと思っています。

木村教授はどんな先生？

●先生は、とてもきさくで真面目な方です。そして常に学生のことを第一に気に掛けてくれる良い先生でもあります。学生としても気兼ねなく質問やお話を聴きにいく教授です。

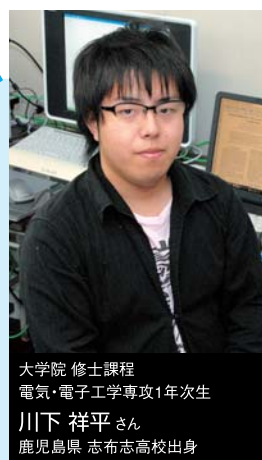


情報学部
情報学科
木村研究室
●指導教員／木村義政 教授 博士(工学)
●専門分野／文字認識 神経回路 辞書学習

木村義政教授の主な活動

- 手書き過程の解明は筑波大学、電気通信大学とグループを組んで進めています。昨年1月、中国ハルビンで開催された計測自動制御学会(SICE)主催の「第22回生体・生理工学シンポジウム ISBPE (22nd SICE International Symposium on Biological and Physiological Engineering)」においては筆者らの行った手書きにおける個人性評価の研究等で3件、グループで全6件を発表しました。また、字形変動を定量的に評価する研究も進めており、こちらの方で得られた結果は、本年8月に福岡で開催されるSICE主催の国際会議「ICCAS-SICE2009 (International Conference on Control, Automation and Systems)」で発表します。
- 文字読取の研究では、類似文字認識を行っています。人間は「王」と「玉」を見分けるには、「丶」の有無で行いますが、遺伝的アルゴリズムという手法を用いたところ、コンピュータは自動でこの「丶」を見出していることが分かりました。この成果は本年9月に京都で開催される国際会議「IIHMSP2009 (The Fifth International Conference on Intelligent Information Hiding and Multimedia Signal Processing)」で発表することになっています。

学生にきく



大学院 修士課程
電気・電子工学専攻1年次生
川下 祥平さん
鹿児島県 志布志高校出身



NAKAMURA Laboratory

それぞれの季節の中で人や花
動物や風景が移ろう際の美しさを
日本画の手法を用いて伝えたい

●日常生活の中で昔から日本人がととても大切にしてきた「季節感」が徐々に失われつつあると思います。私はそれぞれの季節の中で人や花、動物そして風景が移ろう美しさを日本画の手法を用いて伝えたいと思っています。また、熊本県の気候・風土によって培われた文化にも目を向け「保存」と「新しい創造」をライフワークとして取り組みたいと思っています。



●中村教授 第40回(2008年)日展 出品作「秋の陽の下」

中村賢次教授の主な活動

<2008>

- 日展審査員
- 中村賢次日本画展～うつろいのゆくえ～開催(つなぎ美術館)
- 熊本日日新聞夕刊連載「黒船前夜」挿絵(2008年6月～2009年7月)
- 蓮華院四天王像彩色(2008年～2011年まで日本画コースを中心に美術学科の学生数名で彩色)

<2009年>

- 熊本県文化懇話会新人賞受賞
- 西浦荒神総社宮絵馬奉納

※その他にも東京、京都、大阪、福岡でグループ展を開催



芸術学部
美術学科(日本画コース)
中村研究室
●指導教員／中村賢次 教授
●専門分野／日本画

学生にきく



芸術学部 美術学科
日本画コース4年次生
稲葉 未来さん
福岡県 大宰府高校出身

自身の研究テーマについて

●私は日本画コースを専攻しているのですが、日本画というのは独特の美しい色彩を出すのが魅力であると思います。なので「色彩の追求」という研究テーマをもち、どのようにしたら対象物の内面を描きだせるかについて、模索しながら創作しています。

●中村先生は人物に限らず、風景、花鳥画とジャンルが広く、一つのモチーフに絞るのではなく、あらゆるモチーフを描いている点がすごいです。また技法や日本画に関する造詣も深く、日本画を知った上でさらに発展させ、独自のものを作り出している姿とされる姿勢を見習いたいと思っています。

研究室の雰囲気は？

●制作や授業など真剣に取り組まなければならない場面では真剣に取り組む反面、プライベートな時間は本当に自由に過ごし、先生に呆れられてしまうようなこともあります(笑)。しかし、ケジメのつけられるよいクラスだと思っています。

中村教授はどんな先生？

●学生との距離が近く、親しみやすい先生です。しかし絵に対する考え方や取り組み姿勢は常にチャレンジャーであり、先生としても、一人の画家としても尊敬しています。

新任教員

本学に今春13名の教員が新たに着任されました。
「こんにちは」から始まる出会いに込められた
フレッシュな学びの数々に期待しましょう。

●所属 ●職位 ●前職 ●専門 ●メッセージ

工 学 部



八坂 三夫
●機械工学科 ●教授
●有明工業高等専門学校電子情報工学科 教授
●電子工学（インプロセスモニタリング）
●何事に対しても素直に一生懸命に取り組むことを望みます。



只野 一博
●宇宙航空システム工学科
●教授 / 航空機操縦士教育施設・施設長
●独立行政法人航空大学校宮崎本校 特任教授
●航空機操縦士教育
●航空宇宙推進工学
●聞きなれない用語や規則が多いので、戸惑うかも知れませんが難しい内容では有りませんので操縦士を目指してください。



納富 哲雄
●宇宙航空システム工学科 ●教授
●独立行政法人航空大学校宮崎本校 特任教授
●航空宇宙推進工学
●友人をつくろう。そして社会に反しない自慢できる何かを行おう。



森 昭寿
●機械工学科 ●助教
●熊本大学 グローバルCOEプログラム「衝撃エネルギー工学グローバル先端拠点」リサーチアソシエイト
●機械力学 衝撃工学
●めりはりをつけて学生生活を有意義に過していきましょう。



松村 邦光
●宇宙航空システム工学科（航空機操縦士教育施設） ●技師
●民間航空会社 操縦士
●飛行機操縦教育
●学生たちが抱く大空への夢と希望の実現へ、精一杯取り組んで行きたいと思います。

工 学 部



大串 信一郎
●宇宙航空システム工学科（航空機操縦士教育施設） ●技師補
●民間航空会社 操縦士
●飛行機操縦教育
●飛行機は安全な乗り物で、空は楽しいということを伝えていきたい。



角 眞一郎
●宇宙航空システム工学科（航空機操縦士教育施設） ●技師補
●民間航空会社 操縦士
●航空機整備
●目標に向かって、しっかり頑張ってください。最大限のお手伝いをします。



杉本 善伸
●宇宙航空システム工学科（航空機操縦士教育施設） ●技術員
●航空機燃料搭載業務（国際航空給油株式会社）
●機体実習
●良き技術者は人格者でもあります。「人ありて技術」。共に勉強しましょう。



関根 浩子
●美術学科 ●教授
●筑波大学大学院人間総合科学研究科 公設・私設の研究員・研究補助
●西洋（イタリア）美術史
●いろいろなことを貪欲に吸収し、学生のうちにできる限り視野を広げよう。

情 報 学 部



萩原 良昭
●情報学科 ●教授
●ソニー株式会社 技術職
●電子情報工学及び半導体物理
●AIPS（人工知能パートナーシステム）の研究開発に興味ある方大歓迎!!



堀部 典子
●情報学科 ●助教
●九州大学 情報基盤研究開発センター 助教
●知能情報学
●有意義な大学生活がおくれますよう全力でお手伝いしたいと思います。



和泉 信生
●情報学科 ●助教
●九州工業大学大学院 情報工学研究院生
●情報工学
●多くの人と出会い、多くのことを学び、素敵な時間を過ごしてください。



小田切 優樹
●薬学科 ●教授
●熊本大学大学院医学薬学研究部・教授 熊本大学薬学部
●薬物動態学、DDS
●薬学は若者の情熱を傾けるに値する魅力的な学問分野です。その楽しさと一緒に味わってみませんか？

パイロットコースのフライト実習に セスナ172Sを導入

工学部・宇宙航空システム工学科専修課程パイロット養成コースのフライト実習に使用する「セスナ172S型機」の修祓式が、3月24日本学空港キャンパスにおいて執り行われた。当日は天候に恵まれ、熊本空港をはじめとする多くの航空事業関係者も出席され、セスナ機の安全運航を祈願し玉串奉納が行われた。また式終了後には、同機のデモフライトも行われ、計器類に液晶モニターによる画面切替式の「グラスコックピット」を採用した最新型の機体に注目が集まった。式には同コースの学生も出席し「8月から始まるフライト実習が楽しみです!」と力強く語った。同コースでは7月に同型機がさらに2機追加され、8月から2年生のフライト実習がスタートする。フライト実習は、崇城大学と本田航空株式会社（埼玉県）が業務提携を行い、本田航空株式会社・熊本運輸所が担当する。



磯田准教授が肥薩線等にある 熊本の明治期駅舎について国際会議で発表



肥薩線白石駅

4月10日から13日まで第4回東アジア建築文化国際会議が「誰の東アジア〜洋風下の建築と都市」というテーマのもと台南市（台湾）で行なわれ、日本や台湾、韓国、中国、欧米等13カ国から約130のテーマの発表があった。工学部・建築学科の磯田准教授は近年、学生とともに調査した県内に現存する明治時代の5駅舎「三角線の網田駅（明治32年）、肥薩線の坂本・白石の両駅（明治41年）、大畑・矢岳の両駅（明治42年）」における洋風化の進展状況について発表した。本年は肥薩線の開通100周年であるが、会場もほぼ同時代に建てられた日本時代の庁舎を活用しつつ増築したものであった。

藤井教授がベトナムの国立大学を歴訪し 学長との懇談や講演を行う

生物生命学部・応用生命科学科の藤井隆夫教授が、日本学術振興会が推進する拠点大学交流事業「地球環境創造と保全のための環境総合技術の開拓」の一環として2008年12月にベトナムの国立大学を歴訪した。この事業は「環境総合技術」に関する両国の関連分野研究者が共同研究を実施し、アジアを中心とした地球・地域環境の保全に貢献するとともに、その過程を通じて、両国の環境分野における科学技術の開発能力の向上と、研究者・技術者の人材育成に寄与することを目的としている。藤井教授は国立ハノイ大学、国立ハノイ科学大学、国立ハノイ建設大学の各学長と懇談するとともに、国立ハノイ科学大学と国立ハノイ建設大学では、ハノイの汚泥中に検出されたアナモックス菌とヒドラジン酸化酵素遺伝子に関する講演を行った。



人吉市と友好協力協定調印

4月16日、人吉市と本学との友好協力協定調印式が行われた。今後は「まちづくり・産業・教育・文化・スポーツ・国際交流」の分野等で相互に協力、球磨川を中心としたまちづくりや、人吉市出身の日野熊蔵の初飛行100周年の関連事業などへの協力をはじめ、相互の発展に努めていく。なお今回の調印により本学と自治体との協定締結は県内13市町村、大分県臼杵市を加え計14市町村となった。



Photo Scrap*

4.5
入学式



4.7~13
オリエンテーション



4.7~11
新入生阿蘇研修



5.8
学生総会



5.14
留学生歓迎会



5.11~13
美井展覧



5.23~24
遠歩会



2008年度薬剤師国家試験で 崇城大学薬学部が合格率全国2位に

毎年春に施行される薬剤師国家試験は薬学部を設置している全国61大学にとって、薬学教育の達成度を占う一つの目安といえる。2009年3月7日8日の両日に行われた第94回国家試験には全国で15,189人が受験し、13,000人が合格（合格率74.40%）した。今春初めて卒業生を輩出した本学薬学部からは119人が受験し113人が合格。合格率は94.96%であった。これは全国第2位、西日本では第1位の成績であり、まさに「快挙!!」である。日頃のきめ細かな教育、2年次から取り組んだ基礎科目を中心とするミニ模擬試験、4年次の基礎と医療の両分野をカバーする集中補講や節目ごとの模擬試験が学生の意識を高め、実力涵養につながり好成績となって結実したといえる。国試は毎年実施され、その都度教育の成果が問われる。今後も気を引き締め、全員一丸となって邁進していきたいものである。



第44回「日展」日本画部 春季展で学生たちが受賞・入選

日展・日本画部春季展である第44回日春展において川口恵さん（大学院修士課程・美術専攻2009年3月修了）の描いた《うたたね》が奨励賞に選ばれた。奨励賞は本展の最高賞である外務大臣賞をふくむ日春賞5点に続く賞である。応募総数844点の中から10点が選ばれた。写実的な描写力や身体を丸めて寝るユニークなキツネザルの造形が評価された。作品展は4月1日から6日の間、東京・松屋銀座を皮切りに6月10日から15日の福岡・大丸福岡天神店など、全国5カ所を巡回する。



<本学からの入選者（敬称略）>

奨励賞 川口恵／大学院修士課程・美術専攻2009年3月修了／熊本県・熊本北高校出身
初入選 野原都久馬／美術学科・日本画コース3年次生／熊本県・文徳高校出身
阿南友里／大学院修士課程・美術専攻2007年3月修了／熊本県・熊本市立高校出身
再入選 管林更紗／大学院修士課程・美術専攻2年次生／熊本県・必由館高校出身
西田真由美／大学院修士課程・美術専攻2年次生／熊本県・鹿本高校出身
岩永恵理／大学院修士課程・美術専攻2007年3月修了／熊本県・第二高校出身
佐藤和歌子／大学院修士課程・美術専攻2006年3月修了／熊本県・熊本市立高校出身
中国ゆう子／大学院修士課程・美術専攻2008年3月修了／熊本県・第二高校出身
一木恵理／大学院博士後期課程・芸術学専攻2009年3月満期退学／熊本県・玉名高校出身

南九州コカ・コーラボトリング主催の 環境座談会に学生たちが参加

ナノサイエンス技術を利用した資源の有効利用などを学んでいる工学部・ナノサイエンス学科の学生と池永和敏准教授が、南九州コカ・コーラボトリング株式会社主催の「ステークホルダーダイアログ（2009年1月24日）」に招待された。製造・販売担当の社員の方（竹内啓二さん・大塚由美さん）と一緒に環境・社会活動について考え、自分たちができることをディスカッションした。工場見学も体験でき、日頃の講義・実習で得られた知識をもとに、現状とのギャップや問題点などを再確認できた貴重な意見交換の機会となった。



※座談会の詳細は本学ホームページにPDFにて掲載中

<本学からの入選者（敬称略）>

※全員が工学部・ナノサイエンス学科生
大串享平／4年次生／熊本県・荒尾高校出身
緒方康人／4年次生／熊本県・菊池高校出身
浦田洋平／4年次生／熊本県・秀岳館高校出身
河原春花／3年次生／長崎県・佐世保西高校出身
竹川和代／3年次生／熊本県・第一高校出身

本学への留学生が 博士号と修士号を取得

今年3月、ベトナムから本学に留学していたファン・ティ・ハイアンさんとグエン・バン・ドンさん、それぞれが博士（工学）号と修士号を取得した。ファン・ティ・ハイアンさんは本学大学院修士課程・電気電子工学専攻を経て博士後期課程・エネルギーエレクトロニクス専攻に進学、西村教授の研究室で母国の交通騒音問題について研究を行った。帰国後はベトナム外務省に勤務することが決定しており、「国のため精一杯働き、また日越両国の橋渡しをしたい」と語った。またグエン・バン・ドンさんは大学院修士課程・電気電子工学専攻で西教授の指導の下、未来に期待される技術である音声認識について研究を行った。「今後は日本のIT会社勤務に勤務し数年間、企業経験をして専門性をさらに高め、日本の社会の仕組みや文化をより深く理解したい。ベトナムには日本語が話せるIT技術者がほとんどいないので、この分野のリーダーとなってベトナムと日本のために活躍したい」と述べた。



新入生「阿蘇研修」を開催

毎年恒例の新入生行事である1泊2日の阿蘇研修が4月7日から11日まで、全学科を対象に今回、阿蘇青少年交流の家に場所を移して行った。今年で24回目を迎えた阿蘇研修のコンセプトは「友人づくり」、「学生の居場所づくり」、「教員との交流」の場を提供すること。今回は総合教育・健康スポーツの先生方の協力により「本学の教育理念である体・徳・智をテーマとした講座」や「友人づくりのきっかけとなるスポーツレクリエーション」を行い、「学生同士・学生と教員・他学科との交流の場」を提供することができた。研修に参加した新入生に感想を聞いてみると「楽しかった。研修に行かなかったら、ごく限られた友人しかできなかったと思うが、研修のお陰で多くの友人ができた」とのこと。新入生は寝食を共にした1泊2日の研修で多くの仲間、先生と出会い、大学生活のスタートとして実りある有意義な研修になったのではないと思う。また、そういう機会を提供できたことにも喜びを感じた。



THE HISTORY OF A PROFESSOR

教授に歴史あり……シリーズ⑩

高校時代 伝書鳩飼育と昆虫採集
および映画鑑賞に熱中

●子供の頃から動物が好きで、父が医学系大学人だったこともあり、当時まだ珍しいモルモットやラットなど、多種多様な小動物や昆虫を飼っていました。中学・高校では、伝書鳩飼育と昆虫採集に絞りました。映画鑑賞にも入れ込んでいました。それで仲間内では将来、昆虫学者か映画監督、もしくは父と同じ基礎医学をめざすか、とされていたようです。



●高校3年生の頃の緒方教授（前列中央）。後列右から3番目が薬学科の原野一誠教授で、後列左から3人目が宇宙航空システム工学科の小田勇非常勤講師。

大学時代 成績良好で生活も
快適かつ楽しかった

●大学では勉学に興味を抱け、成績も良好でした。その理由は「試験問題は授業内容から出る。講義に集中していれば簡単だ」と気づいたこと。授業は1回の欠席も、さぼったこともありません。平日は朝から夕方まで、ほとんど大学にいました。学食で朝昼夕食をとれるし、図書館は充実しているし、ソフトボールや卓球（済々黉の出身者や講座でチームをつくり）はいつでもできるし、大学生活はとても快適かつ楽しかった。

●また、できるだけいろんな本も読みました。特に浪人・大学・大学院の約10年間は日本文学全集（主に新潮社の70巻もの）を乱読しました。それは東大生の従兄による「日本語が未熟で成績が上がるはずない。まずは小説でも読むことだ」との助言に従ったことでした。



「新規嫌気性細菌の分離を目的としたpH勾配培養法の開発」の小テーマに取り組んでいます。

●国際ウイルス会議（1985年）で座長を務める緒方教授。右端がファージ研究の第一人者であるアッカーマン先生。

さまざまな恩師との出会いや助言により
医学系志望から農化学・微生物の専門家へ

●学科は今の専門につながる農芸化学でしたが、入学前は医学系をめざしていました。農芸化学科を選んだきっかけは当時の済々黉の教頭、木通邦武先生（シアノバクテリア スイゼンジノリの研究者）の助言。父の次の2つのアドバイスに影響されたことも歪めません。「九大の農学部は昆虫分野も有名らしい。農芸化学がいやなら、お前の好きな昆虫分野に移ることもできる」、「罹った流行性髄膜炎からお前が治ったのはペニシリンのお陰で、抗生物質の研究は農芸化学分野の得意芸……」。この2言が九大に43年間に在籍する原点になりました。農芸化学は面白く、その中の応用微生物学・発酵学に進むことにしました。昆虫学教室にも積極的に出入りしました。



●学生食堂で朝食をとる2年次生の頃の緒方教授（左写真）。その2年後、卒業研究に取り組む頃になると今の面影が（右写真）。

●なお本学H棟の外壁には微生物が描かれています。その中の細菌ウイルス（ファージ）はクロストリジウムHM2ファージがモデル。私は本江元吉先生（応用微生物工学科創立者）の指導により、このファージの性質や構造を解明、博士論文にしました。このHM2ファージは、その後の私の研究人生の進路を決定し、ファージ研究の第一人者であるアッカーマン先生との親交をも取り次いだキーマンです。

現在 専門ではない昆虫分類や分布に
“玄人裸足”の貢献をしています

●「新規微生物現象の解明と応用に関する研究」を統一テーマにしています。現在は「高度好熱菌のシリカ鉱物形成作用に関する研究」、「硝酸還元性サイレージ乳酸菌に関する研究」、

●九州バイオリサーチネット会長、日本農芸化学会欧文誌のAdvisory Board、日本生物工学会アドバイザー会議委員、国際ウイルス分類委員会（ICTV）原核生物ウイルス分科会委員などもしています。

●趣味は昆虫の採集・研究です。昆虫の性状の解明や新種の発見など、昆虫分類や分布に“玄人裸足”の貢献をしています（タマムシとベニボタルに私の名を冠した種がいます）。それもあって自己紹介では、脳科学（のうかがく）の權威で昆虫研究者、文筆家でも著名な養老孟司先生に語呂合わせをし、「農化学（のうかがく）の養老をめざしています」と言っています。但し、どうも時間切れのようで「農化学の養老をめざしました」で終わりそうです（笑）。

学生へ 今が人生にとって最も
大切な時期であるから

●チャレンジ精神を持つこと。好奇心と感動を持ち続けること。若い間に一度は真剣かつ猛烈に努力すること。私は大学院生の時、1日が24時間では不足「48時間であつたら」とか、「手が6本ほど欲しい」とか、「分身の術がほしい」とか何度も思いました。この時の阿修羅のごとく実験した経験が今日の支えになっています。



恩師の歌碑の前で

生物生命学部長／生物生命学部 応用微生物工学科
緒方 靖哉 教授（農学博士）

プロフィール●1939年5月28日、熊本県生まれの双子座で血液型はO型。熊本県立済々黉高校から九州大学農学部農芸化学科に進み、同大学院農学研究科農芸化学専攻博士課程を修了。九州大学助手、助教授、米国ウイスコンシン州立大学薬学部研究員、教授を経て2003年に本学へ。専門は微生物遺伝子工学と微生物遺伝子資源学。

卒業生直撃
interview

ハイポイドギヤのプロエンジニアをめざして奮闘

いすゞ自動車株式会社 藤沢工場 生産部門AXLE熱処理技術グループ

●迫口 雄三さん

2006年3月 工学部 機械工学科卒業／山口県 徳山工業高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●勤務先は「いすゞ自動車」藤沢工場・生産部門AXLE熱処理技術グループ。自動車のディファレンシャルギヤというパーツの生産加工技術を担当しています。旋盤やハイポイドギヤの歯切り盤を使った加工技術の向上、設備投資などが私の主な仕事です。今は自動化ラインの設立に携わっており、毎日が勉強でとても充実した日々を送っています。嵐のような毎日ですが(笑)。

学生時代の思い出を教えてください

●サッカー部に所属していました。試合に向けて毎日、仲間たちと練習に明け暮れた日々や遠征に行ったことが、とても良い思い出になっています。いろんなアルバイトをしたことも良い経験になっています。

大学時代に学んだことが今どのように活かされていますか

●卒業研究は遊星歯車の研究(園田研究室)でした。会社ではハイポイドギヤの設計にも携わっており、卒業研究で学んだ加工技術や歯車設計の基礎がとても役立っています。また機械の専門教科の勉強も仕事でそのまま使えます。今、在学中のみなさんが授業で勉強していることは、社会に出ていづか必ず役に立ちます。しっかり勉強しておくとか後で楽し「得します!!」よ。

崇城大に学ぶ後輩たちへ
アドバイスやメッセージをお願いします

●社会に出る前の準備としていろんな青春、経験をしてほしいと思います。大学生なので勉強も大切ですが、在学中の膨大な自由時間を利用していろんなことにチャレンジすべき。その経験や苦労は社会で必ず活かされます。なお、これからはグローバルな時代です。英語に接しておくのも良いですね。

将来の夢を教えてください

●ハイポイドギヤのプロエンジニアをめざしています。「ハイポイドギヤのことなら迫口に聞け!!」と言われるくらいになりたいです。しかし……ほど遠いようです(苦笑)。

卒業生直撃
interview「アートボリス推進選賞」と
「リジェネレーションコンテスト」に入選

一級建築士事務所 坂本達哉建築設計事務所 代表

●坂本 達哉さん

1994年3月 工学部 建築学科卒業／熊本県 文徳高校出身

現在の勤務先と主な仕事の内容を教えてください

●坂本達哉建築設計事務所の代表をしています。仕事の内容は建築全般の新築・改築の設計監理です。設計では機能的でシンプルなデザインにこだわっています。最近「アートボリス推進選賞」と「リジェネレーションコンテスト」に入選しました。少しずつですが実績が示せ、とてもうれしく思っています。実は家内も崇城大学の卒業生で一緒に仕事をしています。

学生時代の思い出を教えてください

●製図の課題がハードで、提出前など徹夜で頑張っていたことを思い出します。なお剣道部の活動との両立も大変でしたが、今になって思うと充実した学生生活をおくれたと思います。

大学時代に学んだ事が
今どのように活かされていますか

●卒業研究では自分で課題を見つけ解決し、結論を出して発表しました。これら一連の流れは設計の仕事の進め方と同じであり、問題解決の基礎を勉強できたと思います。

崇城大に学ぶ後輩たちへ
アドバイスやメッセージをお願いします

●私の場合「設計の仕事に就きたい」との思いがありました。そして、そのためにはどうすればよいのかを先生や先輩に相談していました。目標があると行動がおこせます。早く目標をみつめて貴重な学生生活をおくってもらいたいですね。

将来の夢を教えてください

●設計の仕事は技術と芸術の両方を兼ね備えていなければならないと思っています。現代の建築を創るためにも日々勉強し、努力をしなければならないと思います。それだけ大変でやりがいのある仕事なので「長くこの仕事の第一線にいる」ということが夢であり目標です。

INTERNATIONAL
EXCHANGES

国際交流だより

中国・広西師範大学短期交換留学研修

3月17日から3月28日の12日間、中国・広西師範大学短期交換留学研修が行われた。熊本市との姉妹都市である桂林の広西師範大学とは平成16年に姉妹校提携を行っており、この研修も今回で5回目となる。今回は芸術学部船津教授および国際交流課職員の引率のもとデザイン学科、応用生命科学学科、応用微生物工学科、宇宙航空システム工学科から10名の学生が参加。上海、陽朔など様々な地で研修が行われた。また、広西師範大学では学生たちとの交流を深めつつ中国水墨画や書道などの実習が行われ、広西師範大学と本学との交流5周年を記念した座談会も行われた。

student
voice芸術学部 デザイン学科4年次生
黒木 真由美さん
宮崎県 延岡西高校出身

●私は文様について研究していたので、中国にはぜひ行ってみたいと思っていました。今回は大学の授業などの他、少数民族のひとつであるトン族の村を訪れることができました。世界遺産の風雨橋や、トン族の踊りや歌を見ることができました。男性はシンプルな衣装であるのに対し、女性の衣装は様々な色のパターンがあり「面白いなあ」と思いました。特に、女性の頭の装飾は日本の簪をクジャクの羽のように何本もつけており、カラフルで華やかでした。こういった場所に行く機会は滅多にないので感動しました。中国の学生たちとは会話には苦労しましたが、気さくで親切な人が多かったです。中国語に対する興味もさらに増しました。この12日間は語りつくせないほどの体験の連続であり、文化のちがいをを感じる良い機会になりました。なお貴重な経験の機会を設けてくださった中山学長と広西師範大学の学長、お世話になった引率の先生方へ感謝申し上げます。ありがとうございました。

CLUBS' ACTIVITY

創設40年という歴史と伝統のある部で
大学生活を楽しくよりよいものにしよう!!

●空手道部は水月監督と小田コーチの指導のもと日々練習に取り組んでいます。空手道部は創設40年という歴史と伝統のある部です。試合に勝つことはもちろん、文武両道、部員の絆を深める、そして空手道を通しての人格形成を重視しています。練習は月曜から金曜日の毎日約2時間、集中して行っています。勉学やアルバイトとの両立も充分可能です。経験は問いません。空手道に興味がある、段を取得したい、強くなりたい、そんな人はぜひ、空手道部を見学しに来てください。私たちと一緒に大学生活を楽しくよりよいものにし、歴史をつくりましょう!!

代表／生物生命学部 応用微生物工学科4年次生
城谷 大貴くん
長崎県 鎮西学院高校出身

空手道部

年間さまざまなライブや定期演奏会
学園祭などで演奏しています

●現在1年生から4年生まで60名以上が在籍し、日々練習に励んでいます。年間を通じて様々なライブや定期演奏会、学園祭などで演奏しています。他にも熊本県内6大学との合同ライブもあり、他大学との交流も盛んに行っています。そんな軽音楽部の活動は楽しいだけではなく、大学内外での人や社会とのいろんな関わりにより、人間的な成長も促してくれます。



軽音楽部

代表／情報学部3年次生
松井 亮太くん
熊本県 北稜高校出身

おそらく3年ほど前だったと記憶していますが「〇〇の品格」と題した書籍が目につくなか、書店でふと手にしたのが、この語りおろしエッセー『男の作法』。ではなぜ、池波正太郎かというところから説明します。皆さんは時代小説『鬼平犯科帳』をご存知ですか。時々TVの深夜放送などで再放送されていますが、中村吉右衛門が演じる火付け盗賊改め長谷川平蔵の人間的な魅力にはまっています。そのような人物を描いた著者の豊富な人生経験にもとづく人生哲学が、衣食住、人間関係、および死生観にいたるまで豊富に語られています。約25年前に発行されたものであり、著者自身が「自分の時代の常識であり現代には通用しない」と冒頭に述べています。しかし読んでみれば解ると思いますが、時代を超えて、人生の副読

池波正太郎 著
男の作法

写真の一冊は
新潮文庫 刊



この一冊を読むことで
あなたも翌日から「粋な大人」の
仲間入りができるかも知れません

●薬学部 薬学科／瀬尾量 教授

本になること「まちがいないし」です。食に関することでは「わさびは醤油に溶かさずに刺身の上にのせる」、「てんぷらは親の敵にでも会ったように揚げるそばからかぶりつく」、「うなぎは酒を飲みながら焼き上がりをゆっくり待つ」等と記されています。また、男はなぜ自分を磨くかについて「人間は死ぬ……」という簡明な事実をできるだけ若い頃から意識するところにある。そのことに尽きる」と述

べています。堅い話ばかりではなく、嫁姑の関係や慰謝料、痔の治し方まで話題は尽きません。学生時代にこの一冊を片手にすれば男女を問わず、あなたも翌日から「粋な大人」の仲間入りができるかも知れません。

心響
の
一冊

This is my favorite book
Series@05

紹介書籍は図書館でもクローズアップ!!

この『デザインと行く』は田中一光先生の著書である『デザインの周辺』、『デザインの仕事机から』、『デザインの前後左右』の3冊から抜粋収録されている新書版です。アートディレクター、グラフィックデザイナーとして、日本の伝統文化をモダンに表現し、海外へ発信されてきた田中一光先生の功績は計りしれないと思います。身近なところでは「無印良品」に託された、思想を形にしつつデザイ

古典から未来へ示唆に富んだ予感
事象の捉え方が色彩豊かに眼に浮かぶ
私にとっての「座右の一冊」

●芸術学部 デザイン学科／山下秀男 教授

ンの経済性や社会性、文化性の絶妙なバランスを世界に示された仕事があります。他にもデザイン界の正道を歩み、国内外から圧倒的な支持と賞賛を集める膨大な名作を残されています。なお作品集や画集は多数あり



田中一光 著
デザインと行く

写真の一冊は
白水社 刊

ますが、この本は雑誌や新聞等に書かれたエッセイから編集されています。名作を生んできた背景がおもしろく、時に鋭く綴った普段の生活や嗜好と好奇心、ものごとに気付くための知識と感性の育て方、そして発想法などの参考に、ぜひとも多くの学生に読んで欲しいと思います。古典から未来へ示唆に富んだ予感、事象の捉え方などが色彩豊かに眼に浮かぶ、私にとっての「座右の一冊」です。

※追記／さて私が田中一光“先生”と呼ぶには訳があり、私は1965年から70年の5年間、田中一光デザイン室に在籍していました。田中先生に師事したわけです。私の上京当時の先生は35歳。私はデザインという真新しい夢を追う福岡県出身の田舎の若造。今思えば「やる気だけは人に負けない」体力だけが自慢の学生に「東京に出てこないか?」と誘ってくださったのですから、何と不思議で幸運な縁だろうと今でも感謝と感動が蘇ってきます。アシスタント時代の仕事には「劇団30人会の舞台美術や広報」、「日本の文様」全3巻の編集デザイン、「日本万国博覧会政府館の展示設計」等があり、周りの若者の数倍は働きました。しかし失敗続きの当時を想い出すと……冷や汗が出てきます。そして現在「同じ釜の飯」を食べ、日本のデザイン界をリードする先輩・後輩が10数人もいることを思うと、夢と出会いの大切さを考えさせられます。それは「一冊の本」との出会いから始まることもあるのではないかと思います。

LOCAL AREA COOPERATION

地域との連携

益城町交流情報センターの省エネをサポート

2008年6月30日、益城町交流情報センターに自然エネルギー「地中熱」を利用する冷暖房装置「GEOパワーシステム」が導入されました。このシステムは山口県長門市の建築会社(株)東光工業と工学部エコデザイン学科水田義明教授との共同研究を通じて開発されたものです。その後GEOパワーシステム会が発足。現在では日本全国で95社が参加しており、実際に体感できるモデルハウスは37軒。山口秋芳体感館と東京体感館は本部直営です。また、愛知万博の公式事業「愛・地球賞」、国内住宅メーカー初の環境大臣賞、その他数々の賞も受賞しています。なお本年4月9日から10日に実施されたエコデザイン学科1年次生の阿蘇研修では、このシステムを見学しました。写真左はそのときのものです。

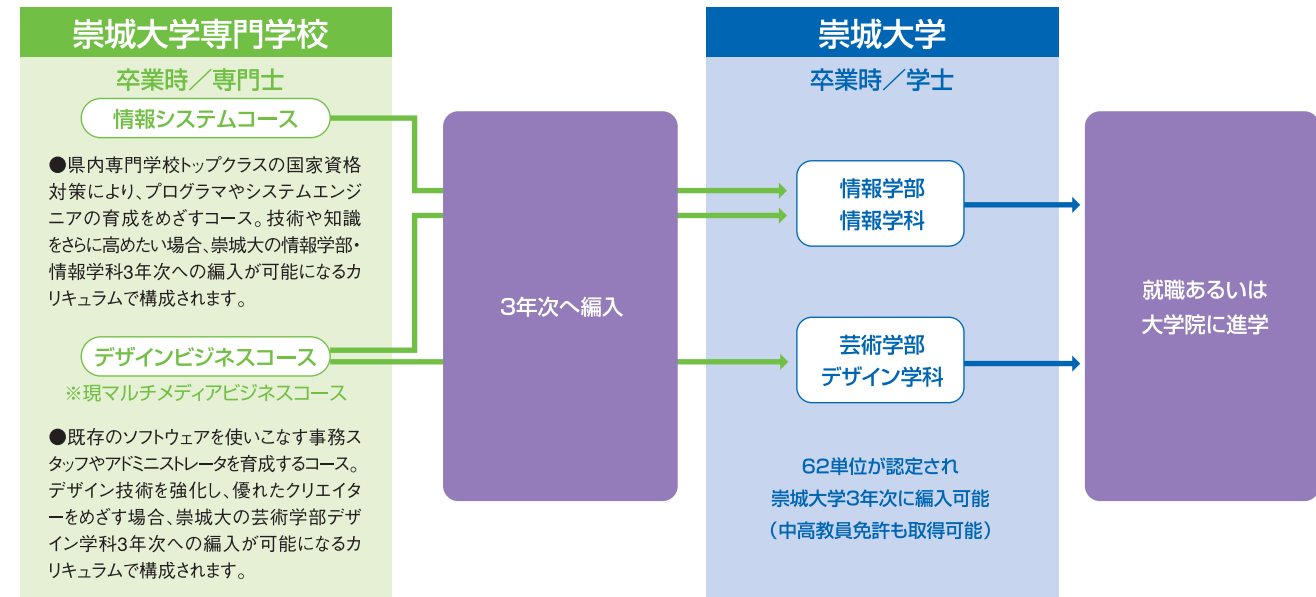


SOJO COLLEGE INFORMATION

崇城大学「専門学校」からのお知らせ

2010年度にコース名称を変更!!

崇城大学の情報学部・情報学科あるいは
芸術学部・デザイン学科3年次への編入が可能に!!



職業体験ガイダンスを開催

7月10日[金]、KKRホテル熊本において職業体験ガイダンスが開催されます(社団法人熊本県専修学校各種学校連合会主催)。その目的は高校生が各種の職業を体験、職業意識を高め今後の進路決定に役立てること。ガイダンスでは分野別ブースと学校別ブースを設置。分野別ブースで職業体験を行います。本校は工業分野の職業体験を行

います(職業分野は次の7つに分けられています)。

①工業(コンピュータ・マルチメディア・自動車) ②教育社会福祉(保育・介護・福祉) ③医療 ④調理・製菓 ⑤美容 ⑥航空・旅行・医療事務・一般事務・公務員 ⑦ファッション・建築デザイン・グラフィックデザイン・その他のデザイン

崇城大学 専門学校

〒860-0806 熊本市花畑町10番25号 TEL.096-323-1122
http://www.sojo-c.ac.jp/ info@sojo-c.ac.jp